

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年1月28日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL http://www.axell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千代 進弘 TEL 03-5298-1670
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,719	—	611	—	591	—	408	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	35.02	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第3四半期は四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	11,999	11,558	96.3	1,033.12
27年3月期	14,562	13,556	93.1	1,093.10

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 11,558百万円 27年3月期 13,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
28年3月期	—	5.00	—		
28年3月期（予想）				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△0.7	240	△85.4	240	△85.5	165	△85.2	14.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成27年4月24日の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行い、また、平成27年10月15日の取締役会決議に基づき自己株式の消却を行っております。このため、平成28年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益は当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	11,187,749株	27年3月期	12,402,252株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	0株	27年3月期	54株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	11,678,035株	27年3月期3Q	12,402,198株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、平成27年3月期通期決算より非連結決算に移行しております。そのため、前第3四半期累計期間は四半期財務諸表を作成しておりませんので、経営成績に関する説明について前年同四半期との比較は行っておりません。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善がみられるとともに、個人消費も底堅い動きを示すなど、緩やかな景気回復基調が持続しました。しかしながら、米国の金融政策の正常化に伴うアジア新興国の景気下振れによる国内景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の中心的市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、一定の稼働が見込める一部の有力機種の販売は堅調に推移しているものの、遊技ホールの新台導入に対する慎重な姿勢から、全体としては低調に推移しております。また、遊技者に対する「のめり込み防止」として、平成26年9月にパチスロ機型式試験の運用方法が変更されて以降、平成27年11月（パチンコ機）及び12月（パチスロ機）に射幸性を抑制するための自主規制が実施されており、今後の市場動向は不透明感が一層強まる状況となっております。

かかる環境の中で当社は、主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSI（注1）（サウンド、LED（注2）制御等の機能を統合した製品を含む）を中心に各種製品の販売活動に注力いたしました。さらには組み込み機器市場（注3）に向けたグラフィックスLSIの採用拡大を図るとともに、デジタル簡易無線市場に向けた各種製品の営業活動も展開いたしました。

主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは、平成27年11月及び12月に実施された自主規制前の駆込み需要により、上半期においては堅調な販売動向を示したものの、第3四半期においては駆込み需要の反動もあり、全体として低調な販売となりました。第3四半期までの累計販売個数は前年同四半期比約12万個減の約92万個となっております。LEDドライバLSI（注4）、メモリモジュール製品等の同市場に向けたその他製品は、現状少数の顧客の採用に留まっており、当該顧客の販売動向の影響を強く受ける製品となっております。当第3四半期累計期間においては、顧客の需要が弱く前年同四半期を下回る販売となりました。以上によりパチンコ・パチスロ機向け各種LSI製品の売上高は7,553百万円となりました。その他組み込み機器向けグラフィックスLSIは115百万円、顧客の開発支援用ソフトウェアや評価基板、デジタル簡易無線向け製品等のその他製品は50百万円の売上高となりました。以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は7,719百万円となりました。

売上総利益は3,559百万円、売上総利益率は46.1%となりました。販売費及び一般管理費は、パチンコ・パチスロ機向けの次世代グラフィックスLSIや演出周辺LSI、組み込み機器向けグラフィックスLSIの試作開発費等を計上したことなどから研究開発費で2,148百万円、販売費及び一般管理費全体で2,948百万円を計上いたしました。

以上により、営業利益は611百万円、経常利益は591百万円、四半期純利益は408百万円となりました。

(注1) 「グラフィックスLSI」とは、液晶表示装置等に表示を行うための当社LSI製品を意味しております。

(注2) 「LED」とは、Light Emitting Diodeの略称です。導電することで発光する半導体素子を意味しており、発光ダイオードとも言われております。

(注3) 「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当します。

(注4) 「LEDドライバLSI」とは、パチンコ・パチスロ機に搭載されるLEDを効率的に制御するためのLSIを意味しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末との比較で2,562百万円減少となる11,999百万円（前事業年度末比17.6%減）となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（774百万円）及び有価証券の減少（2,999百万円）に対し、売掛金の増加（271百万円）、商品及び製品の増加（444百万円）、その他の流動資産の増加（390百万円）等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末との比較で563百万円減少となる441百万円（前事業年度末比56.1%減）となりました。主な要因は、買掛金の減少（35百万円）、未払法人税等の減少（92百万円）、その他の流動負債の減少（459百万円）等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末との比較で1,998百万円減少となる11,558百万円（前事業年度末比14.7%減）となりました。主な要因は、自己株式の取得及び消却に伴う利益剰余金の減少（2,019百万円）等によるものであります。なお、保有自己株式は全て平成27年11月2日付けで消却いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想は、平成27年4月24日に開示しました「平成27年3月期 決算短信」に記載のとおりです。

当第3四半期累計期間の業績は、通期業績予想値に対して売上高では70.2%の進捗にとどまっているものの、営業利益以下の各利益では、通期業績予想値を超過する状況となっております。しかしながら、今後の市場動向に不透明感が強まっていること、第4四半期において積極的な研究開発投資を見込んでいること等を総合的に検討した結果、現時点においては見直しを実施する状況にないものと判断しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,500	7,726
売掛金	550	822
有価証券	2,999	—
商品及び製品	1,483	1,928
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	153	544
流動資産合計	13,689	11,021
固定資産		
有形固定資産	297	356
無形固定資産	38	34
投資その他の資産	536	586
固定資産合計	872	977
資産合計	14,562	11,999
負債の部		
流動負債		
買掛金	170	135
未払法人税等	137	45
その他	662	202
流動負債合計	969	382
固定負債		
資産除去債務	33	33
その他	1	24
固定負債合計	35	58
負債合計	1,005	441
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	11,650	9,631
自己株式	△0	—
株主資本合計	13,531	11,512
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25	46
評価・換算差額等合計	25	46
純資産合計	13,556	11,558
負債純資産合計	14,562	11,999

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	7,719
売上原価	4,159
売上総利益	3,559
販売費及び一般管理費	2,948
営業利益	611
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	2
生命保険配当金	1
その他	0
営業外収益合計	5
営業外費用	
自己株式取得費用	10
投資事業組合運用損	7
その他	7
営業外費用合計	25
経常利益	591
税引前四半期純利益	591
法人税等	182
四半期純利益	408

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

前第3四半期累計期間は四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較は記載しておりません。

①生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	8,231	—
組み込み機器向けLSI製品	89	—
その他	37	—
合計	8,359	—

(注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)			
	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
	百万円	%	百万円	%
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	4,675	—	1,350	—
組み込み機器向けLSI製品	119	—	41	—
その他	49	—	0	—
合計	4,845	—	1,392	—

(注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	7,553	—
組み込み機器向けLSI製品	115	—
その他	50	—
合計	7,719	—

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 当第3四半期累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	百万円	%
緑屋電気株式会社	5,651	73.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

平成28年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 27年4月～27年6月	第2四半期 27年7月～27年9月	第3四半期 27年10月～27年12月	第4四半期 28年1月～28年3月
売上高	2,831	3,343	1,543	—
売上総利益	1,371	1,504	683	—
営業利益又は営業損失(△)	589	182	△160	—
経常利益又は経常損失(△)	581	169	△158	—
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	581	169	△158	—
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	402	116	△110	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	32.84円	10.08円	△9.87円	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	14,829	12,538	11,999	—
純資産	12,859	11,714	11,558	—
1株当たり純資産	1,076.49円	1,047.09円	1,033.12円	—

<参考情報>

平成27年3月期第1四半期から第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、四半期毎の業績の推移は四半期連結会計期間の情報を記載しております。

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 26年4月～26年6月	第2四半期 26年7月～26年9月	第3四半期 26年10月～26年12月
売上高	3,326	2,610	3,380
売上総利益	1,569	894	1,491
営業利益	888	208	770
経常利益	890	212	773
税金等調整前四半期純利益	890	212	771
四半期純利益	634	147	552
四半期包括利益	637	132	549
1株当たり四半期純利益	51.13円	11.86円	44.54円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末
総資産	14,013	14,470	14,875
純資産	13,242	13,374	13,614
1株当たり純資産	1,067.72円	1,078.43円	1,097.72円